

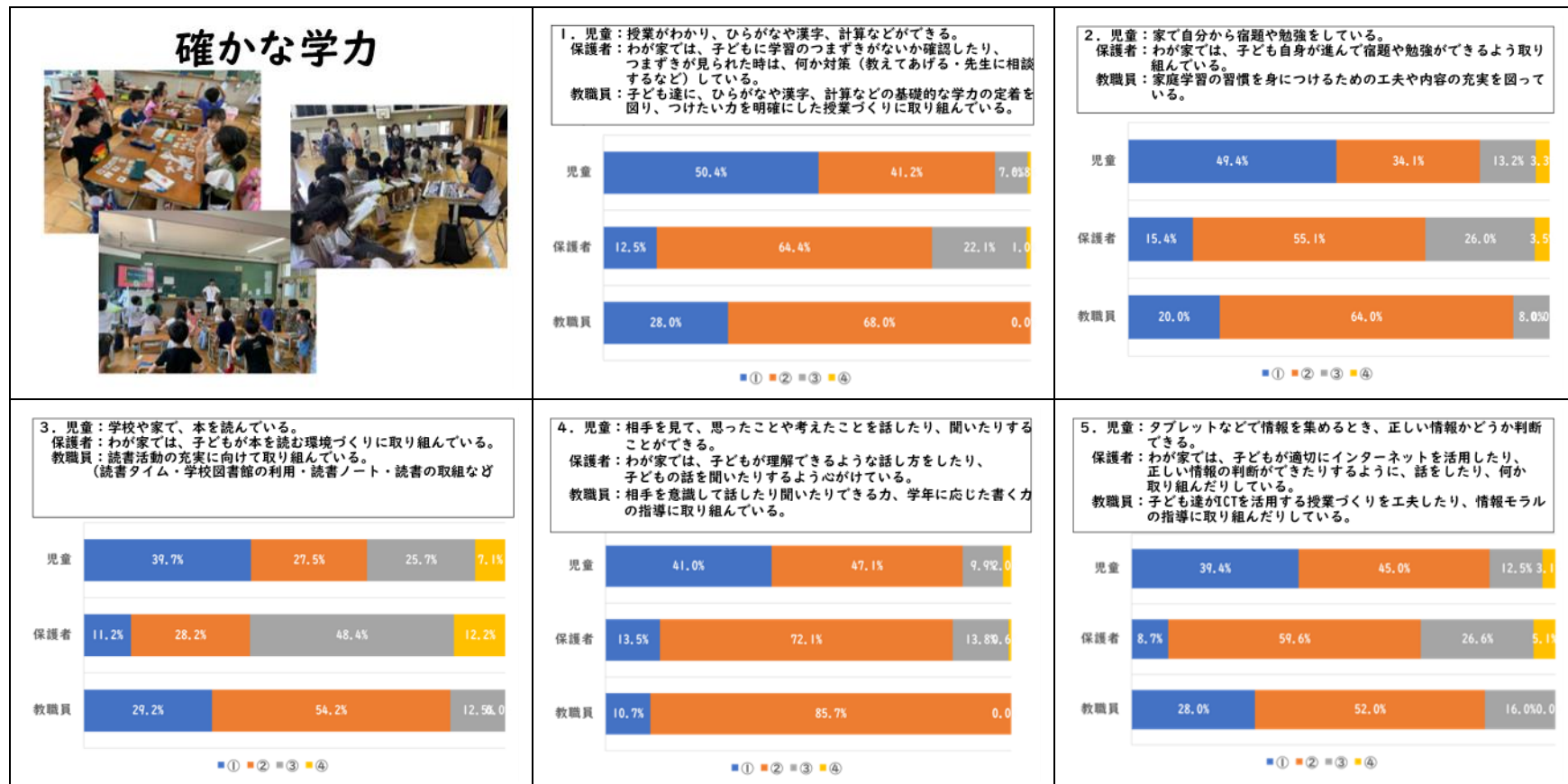


令和6年10月1日
京都市立藤城小学校
TEL 621-5580
校長 高村 朋

よりよい藤城教育のために ～令和6年度前期 藤城教育アンケート～

NO. 1

空が澄み、少しずつ清々しい秋を感じる頃となりました。さて、7月に行った「学校教育アンケート」では、全家庭数の約95%の保護者の方々からご回答を得ることができました。保護者の方の学校に対する期待の大きさを感じました。今後ますます藤城校の教育力を高めるため、「藤城教育アンケート」の結果を分析し、前期の教育活動について振り返りを行い、中間評価での成果・課題をしっかりと認識し、改善に向けて取り組んでいきたいと思ひます。保護者・地域の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。



確かな学力

① 基礎的な学力に向けて

児童約90%以上が、ひらがな・漢字・計算などの基礎的な学力が「よくできている・だいたいできている」と回答。教職員も基礎的な学力が身につくような取組を行っている」と回答している。それに対して、約22%の保護者が子どもの学習に対しての対策が「あまりできていない・できていない」と回答している。保護者の方の日々の多忙感が影響しているのか、なかなか子ども達の学習への取組が分かりにくいのではないかと考えられる。学校の日々の取組を理解してもらえるよう授業参観、HPなどで学校の取組をさらに発信していきたい。

② 家庭学習について

約86%の児童が「できている・だいたいできている」と回答。また、約96%の教職員が家庭学習の習慣を身に付けるための充実を「図っている・大体図っている」と回答している。それに対して、保護者は、約30%が「あまりできていない・できていない」と回答している。家庭学習に取り組む姿が保護者に見えていなかったり、児童に対する期待が大きかったりするのではないかと考えられる。家庭学習の習慣を持続できるようモチベーションを保つなど学校と家庭とで連携しながら、子ども達の学力向上を図ってきたい。

③ 読書について

児童・保護者共に低い数値である。児童約33%、保護者約61%が「あまりできていない・できていない」と回答している。それに対して、教職員は約83%が読書活動の充実に向けて取り組んでいる。ユーチューブやゲームなどの情報機器がますます充実するなか、子ども達の活字離れが進んでいるのではないかと考えられる。本を読むことは、子ども達の知識や視野が広がることにつながる。また、様々な場面で重要とされる「読解力」や「生きる力」の向上にも結び付く。学校では、毎朝読書タイムの時間や、一年に2回読書週間を設けて、子ども達に読書の楽しさを感じられるような取組、そして充実を図っている。 今後も、学校図書館に行く機会を増やすなどし、意識的に子ども達に働きかけていきたい。

④ 話す・聞く・書くことについて

三者とも高い評価であった。保護者も約86%が「できている・だいたいできている」と回答している。毎日忙しい中、子ども達の話を聞いたり、話したりしようとされているのではないかと考えられる。





よりよい藤城教育のために ～令和6年度前期 藤城教育アンケート～

N0. 2

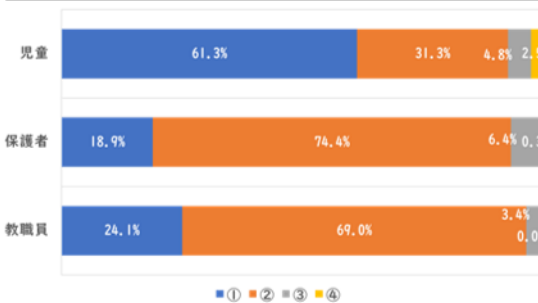
⑤ ICT 活用について

児童と保護者に若干の開きがある。タブレットなどで情報を集めるとき、約84%の児童が「できている・大体できている」と回答しているのに対して、約32%の保護者が、子どもが適切なインターネットの活用・情報の正しい判断への取組が「あまりできていない・できていない」と回答している。また、教職員は約16%が ICT を活用した授業づくりや情報モラルの指導が「あまりできていない」と回答している。・子ども達は自信をもって ICT を取り組もうとしているが、その反面保護者は、子ども達の ICT 機器の活用について少し不安を持っているのではないかと考えられる。また、教職員は今後さらなる活用や情報モラルの指導について試行錯誤しており、その試行錯誤が不安につながり「あまりできていない」になっているのではないかと考えられる。子ども達は、身近にタブレットがある環境で ICT 機器を活用した学習に取り組んでいる。情報を正しく判断する力「情報活用能力」の獲得を目指しながら、ICT機器の効果的な活用を進めていきたい。学校では、子ども達がICTを活用できるよう授業を工夫したり、情報モラルの指導を進めたりしている。今後、デジタル技術を活用し、教育の変革を進める「教育 DX」が進む中、学校では各教科において ICT 機器を効果的に活用し、子ども達の学力向上を目指していきたい。

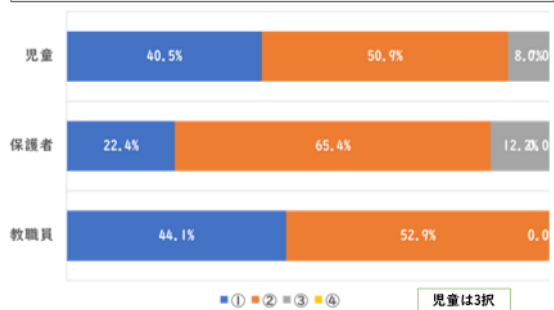
豊かな心



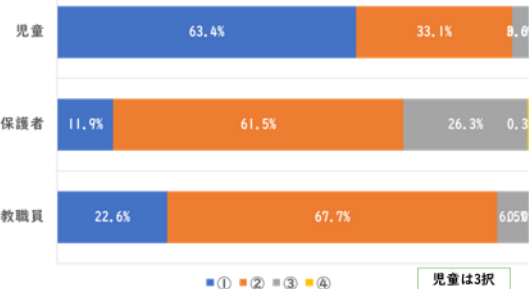
6. 児童：学校は楽しい。
保護者：わが家では、子どもが楽しく学校に通えるよう声かけするなどしている。
教職員：子どもたちが、楽しく学校に通えるような取組を行っている。



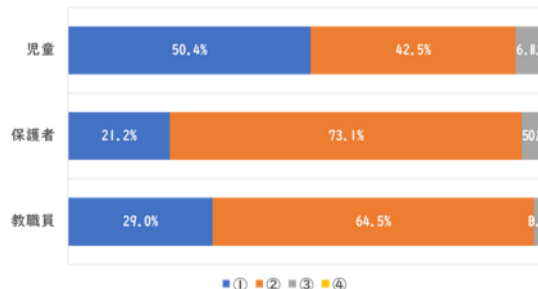
7. 児童：自分には良いところがあると思う。
保護者：わが家では、子どもの良さを認め、ほめるよう心がけている。
教職員：子どもの良いところを認め、ほめるよう心がけている。



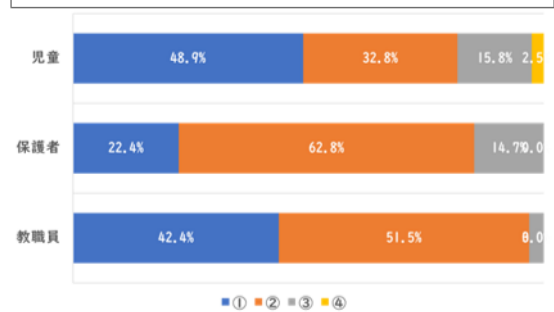
8. 児童：自分には、将来の夢や目標がある。
保護者：わが家では、子ども達に夢や目標をもてるように話をしたり、行動に示したりするなどして働きかけている。
教職員：子どもたちに、夢や目標を持てるよう話をしたり、行動に示したりするなどして働きかけている。



9. 児童：自分がされていやなことは人にしないなど学校のきまりを守っている。
保護者：わが家では、子どもが学校のきまりや交通ルールを守ったり、社会のマナーを身に付けたりできるよう働きかけている。
教職員：子どもたちが学校のきまりを守り、学習規律が身につくよう取り組んでいる。



10. 児童：自分から進んで挨拶をしている。
保護者：わが家では、子どもから進んで挨拶をするよう働きかけている。
教職員：自分から進んで挨拶をするよう働きかけている。



豊かな心

⑥ 学校生活について

三者とも高い評価であった。児童約93%が楽しく登校できている。しかしその一方で約7%が「あまり楽しくない、楽しくない」と回答している。保護者からは約93%が楽しく通えるようにお声かけなどをしていただいているとの回答であった。教職員は約3%が「あまり取組ができていない」と回答しているが、これは、今後の自分自身への鼓舞としているのではないかと考えられる。今後も全ての子ども達が楽しく登校できるよう、学校では継続して教職員皆で丁寧に子ども達に接していきたい。

⑦ 良いところについて

児童約91%、保護者 88%と高い評価であった。保護者、教職員等大人が子ども達をほめることで子ども達の自己肯定感を高めようとしていることがうかがえる。子ども達が自己肯定感をもちつことは、子ども達の今後の人格形成において大変有効である。今後も私たち大人がたくさんほめて、子ども達のよさをのばしていきたい。

⑧ 夢について（児童は3択）

児童と保護者に若干の開きが見られた。「できている・だいたいできている」と回答しているのは、児童約96%、保護者約73%であった。保護者の見えないところで、子ども達は夢や目標を育てているのかもしれない。藤城小学校では、なりたい自分を目指して成長できる学校を目指している。子ども達が夢を描けるよう今後も働きかけをしていきたい。

⑨ きまりについて

三者とも高い評価である。児童約93%、保護者約94%が「できている・だいたいできている」と回答している、学校では、皆が気持ちよく生活できるよう決まりがある。また、マナーがある。今後も人のことを考えられるような人になるよう働きかけていきたい。

⑩ あいさつについて

児童の約81%が「できている。大体できている」と回答している。昨年度後期は84%と以前からも課題がある項目である。三者とも「できている」と自信をもって言えないところから、まだまだ改善の余地があると考えられる。あいさつは人とのコミュニケーションの第一歩ではないだろうか。今後も皆で取り組んでいきたい課題である。



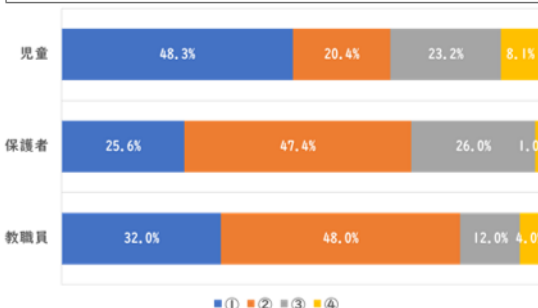
よりよい藤城教育のために ～令和5年度後期 藤城教育アンケート～

NO. 3

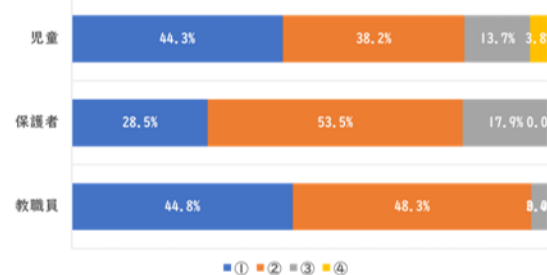
健やかな身体・その他



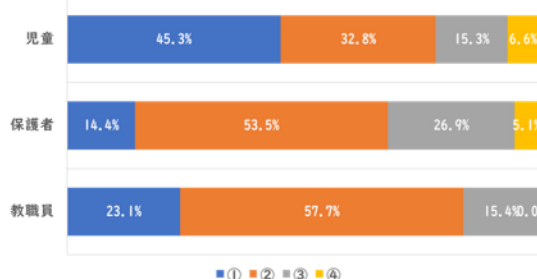
11. 児童：休み時間は外で元気に遊んでいる。
保護者：わが家では、子どもに体を動かす運動や遊びをすすめている。
教職員：休み時間は、子どもに外で遊ぶように声かけを行うなどして働きかけている。



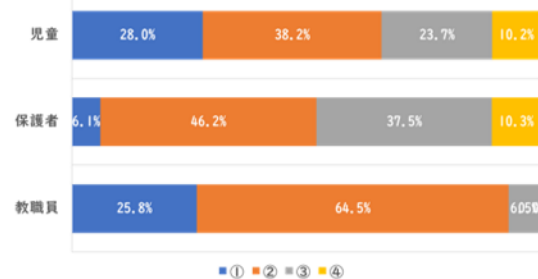
12. 児童：早寝・早起き・朝ご飯など規則正しい生活を意識して、体調を整えている。
保護者：わが家では、早寝・早起き・朝ご飯等規則正しい生活を意識し、体調を整えられるよう取り組んでいる。
教職員：健康や安全に配慮した取組や適切な声かけをしている。
(早寝・早起き・朝ご飯をはじめとした保健指導など)



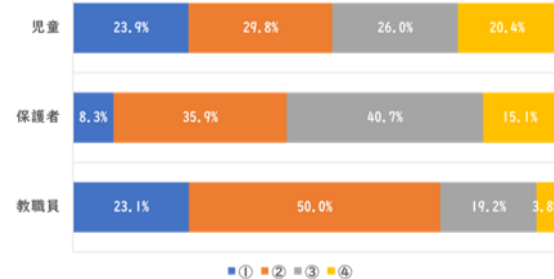
13. 児童：テレビ・ゲーム・YouTube・インターネットなど、やりすぎないように、家庭で決められた時間を守っている。
保護者：わが家では、テレビ・ゲーム・YouTube・インターネットなどについて、家庭での約束を子どもとの間で決めている。
教職員：テレビ・ゲーム・YouTubeなど適切に時間を守ってするよう声かけをするなどの取組を行っている。



14. 児童：学校教育目標が言える。
保護者：学校教育目標を知っている。
教職員：学校教育目標に向けて子どもの育成に取り組んでいる。



15. 児童：GIGA端末などで学校ホームページを見ている。
保護者：藤城小学校のホームページやチーム藤城オンラインを閲覧している。
教職員：学級・学校だより、学校ホームページなどで、学校の様子を保護者に伝えている。



⑪外遊びについて

児童約31%が「あまりできていない・できていない」と回答している。昨年度末冬の回答では、約28%が「あまりできていない・できていない」という回答であったので、外で遊べていない子が相変わらず減っていない。保護者も、約27%が「あまりできていない・できていない」と回答している。教職員も約16%が「あまりできていない・できていない」と回答している。アンケート時期が7月上旬ごろということもあり、暑さのため遊べていないということも考えられるが、各家庭では、遊びの内容がゲームやスマホなどになっていたり、習い事や塾などの影響もあったりするのではないだろうか。コロナ禍以降子ども達の体力や運動能力の低下が言われているが、子ども達の健やかな身体の育成を目指すためにもたくさん外で遊んだり、体を動かしたりするよう働きかけていきたい。

⑫早寝・早起き・朝ご飯について

児童の約17%、保護者の約18%が、「あまりできていない・できていない」と回答している。テレビ・ゲームで、もしくは習い事で…など自分自身規則正しい生活ができていないと感じているようである。毎日を健康に楽しく過ごすためにもしっかりと睡眠時間を確保すること、朝ごはんをしっかりと食べることなど、体調を整えることが大切である。

⑬テレビ・ゲーム・YouTubeなどについて

児童約22%が、やりすぎないように家庭で決められた時間を守っているかどうかの内容の質問に「あまりできていない・できていない」と回答。また、保護者は約32%が家庭での約束を決めているかどうかについて「あまりできていない・できていない」と回答している。家庭では約束を決めているが、守ることがなかなか難しい家庭もあるのではないだろうか。YouTubeなどの影響は、動画を見せることで視力や発達に影響するのではないかと心配の声が聞かれる一方で、家事をする時間などを得られて助かっているという声も聞かれる。映像や音などの情報を受け入れ続けると受け身になり、自分から働きかける機会が減り、人とのコミュニケーションにも影響がでるかもしれないということも言われている。今後もゲーム・YouTubeなどの時間をしっかりと守れるように働きかけをすることが、大切になってくるのではないかとと思われる。

⑭学校教育目標について

児童・保護者共に低い評価であった。児童約34%、保護者約48パーセントが学校目標を「あまり知らない・知らない」と回答している。これらは昨年度後期とあまり変化はない。学校ホームページや学校だよりに掲載はしているもののあまり意識づけされてはいないようである。本校が目指している学校教育目標及び子ども像など、子ども達や保護者の方たちにしっかりと周知していけるよう取り組んでいきたい。

⑮ホームページについて

三者とも低い傾向であった。児童約46%、保護者約56%、教職員約22%が学校ホームページ閲覧などについて「あまりできていない・できていない」と回答している。保護者は昨年度と比べても「あまりできていない・できていない」が約15%も数値が高くなっている。学校ホームページには、子ども達の日々の学校生活の様子等を伝えている。また、チーム藤城オンラインでは、藤城地区の様子などについても伝えている。今後もこのホームページが、学校と家庭、地域を結ぶ懸け橋となるよう、今後も学校の様子などを伝えていきたい。



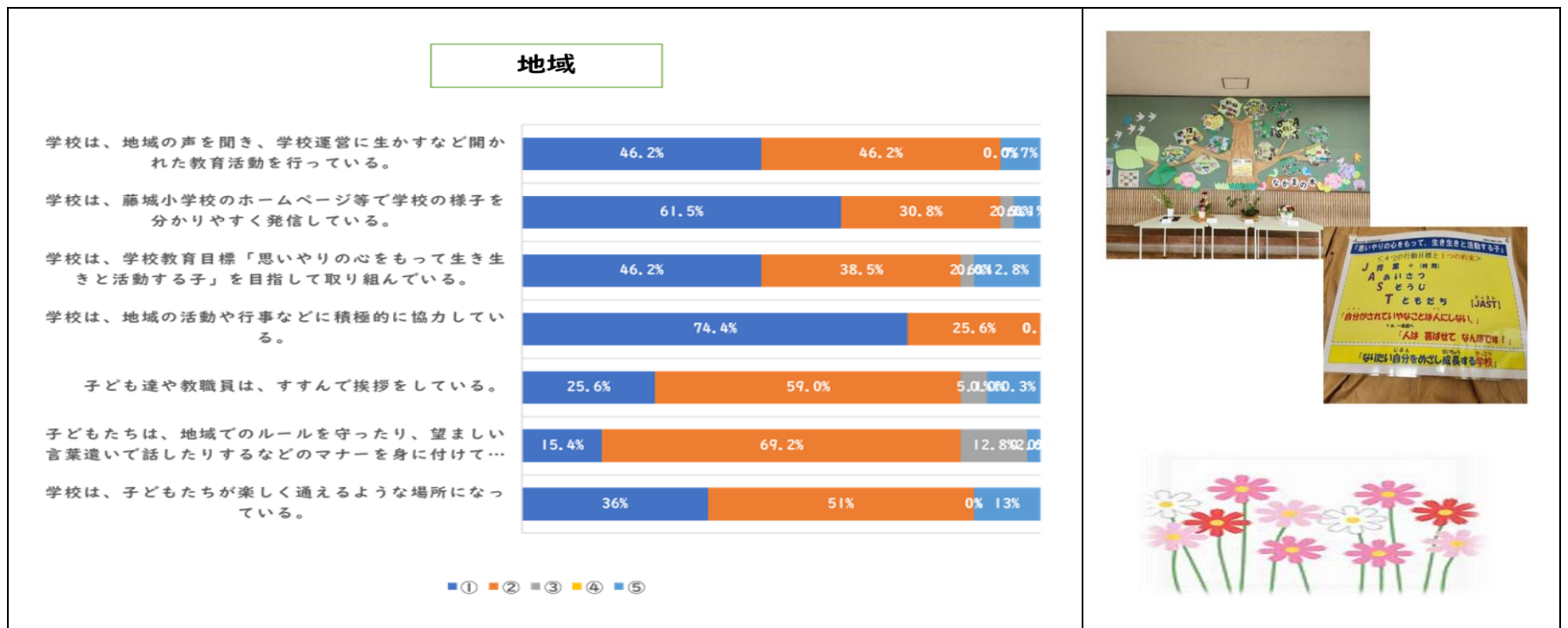


よりよい藤城教育のために ～令和5年度後期 藤城教育アンケート～

N0. 4

自由記述には、「子ども達に必要な力」について問いました。一部ですが、紹介させていただきます。また、地域の方からは、家庭・学校・地域の三位一体の教育活動についてご意見をいただきました。今後も藤城教育推進のため、ご協力をよろしくお願いいたします。

<p>児童（1・2年） 「がんばりたいことは何ですか」</p> <ul style="list-style-type: none"> やさしくする かきかきつどう おりがみをたくさん作る そうじ つよくなりたい 計算をがんばる テストで百点をとる そとで元気にあそんでがんばりたい ひらがな・かたかな・漢字をきれいに書く 体育をがんばる 宿題を自分からする 発表をたくさんする 毎日あいさつをがんばる 泣かずに学校に行く 	<p>児童（3年） 「自分に必要な力はどのような力だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達を大切にする 思いやりの心 勉強 たくさん遊んで元気にすごす 正しいことをして嫌なことをしない きまりを守る力 話を聞く力 考える力 勇気 大きな声でのあいさつや返事 字をきれいに書く 最後までしっかり考えてやりきる みんなの前で発表する まわりを見る力 自分の夢に向かって進む いろいろなことに挑戦する 	<p>児童（4年） 「自分に必要な力はどのような力だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 優しさ・思いやり・親切にする・助ける 学力・勉強 あいさつ 自分の意見をはっきり言う 体調を調える、自分の体を大切に 字をきれいに書く いい行動を自分から進んでできる力 話をしている人を見て聞き、理解する 自分らしく生きる 人の意見を参考にして新たな意見を考えてみる スポーツがよくできる 嫌なことがあっても解決の仕方を考えられる 友達をたくさん作る 自分に自信を持つ
<p>児童（5年） 「自分に必要な力はどのような力だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 人を助ける力 思いやりの心をもつ 自分から行動する 周りをみる力 学習の力 あきらめず挑戦する、けじめ 自分の意見を言う 判断力 自分・友達のいいところを見つける 集中力 周りとの交流を深める がまんする力 考える力 自信を持つ 授業の時に発表する力 思考力 みんなをまとめられる力 友達をたくさん作る 元気に挨拶をする 	<p>児童（6年） 「自分に必要な力はどのような力だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習（理解力、計算力、漢字、暗記力） 思いやる気持ち 自分の考えを伝えたり、決めたりする 人の気持ちや行動を考える コミュニケーション能力 集中力 自分から進んで挨拶をする 自己肯定感 視野を広く持つ 努力、頑張る力 友達を作る なんでもよく食べる 人と正しく関わる力 想像力 あきらめない力 空気を読む力 協力 当たり前のことを当たり前に行える力 勇気 思考力 リーダーシップ 	<p>教職員「未来を担う子ども達に必要な力はどのような力だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題解決に向けて根気よく活動する力 自分もまわりも大切にする思いやりの心、気持ちに寄り添う力 多様な意見や考えを柔軟に受け入れながら、自分の意見を持ち行動できる力 その場で判断して行動できる力 コミュニケーション能力 自分の思いを言葉や文字にして相手に伝えるように表現する力 何事にも積極的に取り組む力 自力で発信できる力 豊かな人間性 やっちゃん力 周りに流されない意志をもつ力 進んで新しいことを取り入れようとする力 自分を認め、成長していけると信じられる力 疑う力 多様な面で考える力 夢を育み、夢に向かって努力する力 自分の健康を考えて、選んだり作ったりして食べられる力
<p>保護者「未来を担う子ども達に必要な力はどのような力だと思いますか」 【多かった意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、行動に移せる力 23票 コミュニケーション能力 14票 周りに流されず、自己判断できる力、よく考え物事の本質を見極める力 10票 適応能力、柔軟に対応できる力、応用力 7票 思いやる心 5票 国語力（読解力、文章表現力、自分の考えを言葉にする力、語学力、聞く力）5票 自分の考えに自信を持って取り組んでいく力、責任を持つ力、思考力 4票 何にでも興味を示し前向きに取り組む力 3票 粘り強く取り組む力、一生懸命頑張る力 3票 	<p>保護者「未来を担う子ども達に必要な力はどのような力だと思いますか」 【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> AIと共存できる能力 平和学習 理解力 ひらめく力 伝える力 決断力 正しい情報を知ろうとする力 世界の国、人、文化を知ろうとする力 他者と共同・協調する力 自己肯定感 度胸 忍耐力 多様性を受け入れる力 困った時に周りの人に助けを求められる力 生活力、生きる力 今やっていることが全て社会へ入って役立つと常々話している。学校で学ぶ力、家で教えてもらう力は、この世の中を良くしていくために、自分達が住みやすい環境にしていってほしいものだと思う。 	<p>地域「未来を担う子ども達に必要な力はどのような力だと思いますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語力（言語力） 自分で考え行動する力 コミュニケーション能力 他者を敬い、自分のことも大切にし、自分がどうなっているかを見つけれられる力 自分の気持ちややりたい事をアピールできる力 相手の気持ちを考えられる力 周りの状況を見据えて活動する しっかりと挨拶ができる 自主性 協調性 一人で生きていく力 想像力 周りの声を聴くことのできる力 人を思いやることのできる力 想像力 社会に必要な対応力 あきらめない強い意志



※グラフの数値はいずれも

①できている ②大体できている ③あまりできていない ④できていない ⑤わからない（地域のみ）
（3択の場合は①できている ②大体できている ③できていない）

